

研究機関名：九州大学

競争的研究費の直接経費からの研究代表者(PI)の person 費支出に係る
活用実績報告書（令和7年度）

1. 実施状況

①事業名	②直接経費から人件費を支出した、所属PIの人数 (人)	③所属するPIについて、直接経費から支出した人件費の総額 (円)	④所属するPIについて、直接経費から人件費を支出したことにより確保した財源の総額 (円)
【文部科学省】			
国家課題対応型研究開発推進事業 (DxMT)	1	600,000	600,000
国家課題対応型研究開発推進事業（原子力システム研究開発事業）	1	2,527,000	2,527,000
【国立研究開発法人科学技術振興機構】			
ムーンショット型研究開発事業	2	4,368,000	4,368,000
ライフサイエンスデータベース統合推進事業	1	600,000	600,000
経済安全保障重要技術育成プログラム	1	312,000	312,000
研究成果展開事業（A-STEP）	1	576,000	576,000
先端国際共同研究推進事業（ASPIRE）	5	5,568,000	5,568,000
戦略的創造研究推進事業（ACT-X）	2	292,000	292,000
戦略的創造研究推進事業（AIP 加速課題）	1	4,224,000	4,224,000
戦略的創造研究推進事業（ALCA-Next）	2	912,000	912,000
戦略的創造研究推進事業（CREST）	3	4,680,000	4,680,000
戦略的創造研究推進事業（CRONOS）	1	1,254,000	1,254,000
戦略的創造研究推進事業（さきがけ）	10	9,049,000	9,049,000
創発的研究支援事業	23	15,588,000	15,588,000
大学発新産業創出基金事業	6	3,563,000	3,563,000
未来社会創造事業	2	4,468,000	4,468,000
小計	62	58,581,000	58,581,000
【国立研究開発法人日本医療研究開発機構】			
ムーンショット型研究開発事業	1	744,000	744,000
ワクチン・新規モダリティ研究開発事業	1	1,315,200	1,315,200

革新的先端研究開発支援事業 (AMED-CREST)	5	9,945,000	9,945,000
肝炎等克服実用化研究事業	1	2,184,000	2,184,000
橋渡し研究プログラム	1	6,132,000	6,132,000
次世代がん医療加速化研究事業	1	800,000	800,000
先端国際共同研究推進事業 (AMED-ASPIRE)	2	2,052,000	2,052,000
創薬基盤推進研究事業	1	1,380,000	1,380,000
難治性疾患実用化研究事業	1	1,080,000	1,080,000
脳神経科学統合プログラム	3	2,948,000	2,948,000
小計	17	28,580,200	28,580,200
【独立行政法人環境再生保全機構】			
環境研究総合推進費	3	3,336,000	3,336,000
小計	3	3,336,000	3,336,000
【国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構】			
イノベーション創出強化研究推進事業 (スタートアップへの総合的支援)	1	595,000	595,000
戦略的イノベーション創造プログラム (SIP)	1	480,000	480,000
小計	2	1,075,000	1,075,000
【国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構】			
NEDO 先導研究プログラム (エネルギー・環境新技術先導研究プログラム)	1	720,000	720,000
NEDO 先導研究プログラム (未踏チャレンジ)	2	3,288,000	3,288,000
ムーンショット型研究開発事業	1	3,396,000	3,396,000
競争的な水素サプライチェーン構築に向けた技術開発事業	2	2,400,000	2,400,000
経済安全保障重要技術育成プログラム	1	2,376,000	2,376,000
水素利用拡大に向けた共通基盤強化のための研究開発事業	3	4,891,000	4,891,000
小計	10	17,071,000	17,071,000
合計	94	108,643,200	108,643,200

2. 確保した財源の使途、具体的な活用内容、効果等

- ・ 競争的研究費の直接経費から人件費を支出した研究者に対するインセンティブ（手当又は研究費）として付与し、処遇改善及び研究力強化に寄与。
- ・ 大学の研究力強化を図ることを目的とし、学内研究支援制度（研究費の支援等）や、若手研究者の自立・安定した研究環境の確保に向けた学内支援（研究スペースの使用料、共用機器の利用料の支援）に活用。

3. 策定した活用方針や活用実績を公表している研究機関のホームページ等の URL を記載してください。なお、各研究機関における研究力向上に向けた実施事例については、好事例として政府のホームページでも公表させていただく場合があります。

<https://airimaq.kyushu-u.ac.jp/for-faculty-staff-students/pi/>